

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号600-8652**「京銀未来ファンド2号」第26号案件への投資について**
～空の安全を守る装置を開発する「メトロウェザー株式会社」へ投資～

京都銀行（頭取 土井 伸宏）が、グループ会社の京銀リース・キャピタル株式会社（代表取締役社長 竹中 伸一）と共同で設立した「京銀未来ファンド2号」は、第26号投資案件として、「メトロウェザー株式会社」へ投資いたしました。これにより「京銀未来ファンド1号」および「京銀未来ファンド2号」での投資先は、41社となりました。

「メトロウェザー株式会社」は、風向きや風の速度などの風況を把握するための装置「ドップラーライダー」の開発を行う京都大学発のベンチャー企業です。ドップラーライダーとは、上空や海上における風の情報を立体的に測定する観測装置です。同社は、このドップラーライダーの開発により、空の風況を把握し、可視化することで、3次元風況マップを完成させ、空の安全を守ることを期待されています。

京都銀行グループでは、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業、中小企業のほか、事業承継ニーズを有する中小企業等への投資を行い、持続可能な経済成長の実現に向けて、地域の発展と成長に貢献してまいります。

記

1. 投資先概要

企業名	メトロウェザー株式会社
代表者	代表取締役社長 古本 淳一
所在地	京都府宇治市大久保町西ノ端1-25 宇治ベンチャー企業育成工場6号
設立	2015年5月
事業内容	・リモートセンシング技術を応用した大気計測装置の開発・製作・販売 ・気象情報とIoTを組み合わせたマーケティングおよびソリューションの提供 ・気象観測および予測データ、防災オペレーション支援情報の提供

2. 投資額

9,891,200円

3. 投資について

本件投資により、「メトロウェザー株式会社」は、観測用装置「ドップラーライダー」の研究・開発を促進する。

4. 京銀未来ファンド2号の概要

名 称	京銀輝く未来応援ファンド2号投資事業有限責任組合 (略称：京銀未来ファンド2号)
投資対象	当行営業エリア内に本社を置く企業で、独自技術や新規性のあるビジネスモデルを有し、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業・中小企業等
出 資 者	無限責任組合員（G P）：京銀リース・キャピタル株式会社 有限責任組合員（L P）：株式会社 京都銀行
ファンド総額	20億円
当行出資額	19億80百万円
設 立	2019年2月25日
存続期間	10年（ただし、合意により2年間の延長可能）

以 上

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動を行ってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースにその目標であるSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。17のゴールと169のターゲットで構成されている。

